

第1回奈良県中小企業会館等活用検討委員会の議事概要

1 日 時：令和4年4月26日（火） 10時～11時30分

2 場 所：奈良県文化会館第1会議室

3 出席者：（委員）北口委員、下山委員、中山委員、福井委員、二神委員
（事務局）産業・観光・雇用振興部 谷垣部長
企業立地推進課 大内課長 他

4 公開・非公開の別 公開

5 議事

(1) 開会の挨拶 谷垣部長

(2) 委員長の選任 委員の互選により、中山委員を委員長に選出

(3) 奈良県中小企業会館等の活用検討について

ア 事務局から資料に基づき説明

イ 意見交換

<委員からの主な発言は、次のとおり>

- ・ゆったりとした奈良公園の入口であり、緑豊かな場所。奈良で今、必要な施設として、ホテルやコンベンション施設があると思う。
- ・「地域活性化につながる」、「奈良の強みを活かす」この2点が重要であり、奈良公園は観光資源として非常にイメージがよく、それを利活用していくべき。
- ・奈良の強みを下げてしまうようなものは望ましくない。
- ・奈良には二千を超える重要文化財があり、他に類を見ない充実さがある。

- ・旅行消費額が非常に少ない状況である。
- ・奈良公園の玄関口であるこんな場所はなかなかない。
- ・奈良の文化観光資産をもっと活用していくべき。
- ・近鉄奈良駅から北に流れていく観光客が少ないことから、この施設が拠点になればよい。
- ・若い人が起業できるようなインキュベーション施設が考えられるのではないか。次の新たな担い手を生み出していくことで将来的な地域経済の活性化を目指すということ。
- ・市街化調整区域であることから、どういう活用方法ができるかが重要。
- ・近鉄奈良駅がどのようになっていくのか。近鉄奈良駅周辺の再整備計画に注目している。
- ・奈良公園整備計画の背景と合わせて、その中の1つの場所として、この場所にこういうものを作るんだという面的な考えがある。
- ・奈良は、ハイグレード、ラグジュアリーな宿泊施設が少ない。
- ・上質なホテルは相乗効果があり、経済波及効果が高い。
- ・かなりゆったりとしたラグジュアリーな施設が望ましい。
- ・福祉施設、市民生活施設、タワーマンション等は、今回の場所には適していない。
- ・観光を通じた経済活性化に資する施設が望ましい。
- ・観光に関連するデータを提示してほしい。

次回

奈良公園の玄関口に相応しく、観光を通じた経済活性化に役立つような具体的な施設を検討